

氏名	田中 利宗 (タナカ トシノリ)
所属	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科
職名	教授
研究室連絡先	電話 (01654) 2-4199 (1304) FAX (01654)3-3354 <大学事務局> E-mail
ホームページ URL	

学歴	東北福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業 東北福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程入学 東北福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了(社会学修士)
職歴	1977年4月～1981年3月 医療法人佐々木病院医療相談員 1982年4月～1983年9月 宮城県精神保健センター精神保健相談員(嘱託) 1983年4月～1996年3月 函館大谷女子短期大学 (1989年～ 専攻科福祉専攻) 1988年4月～1996年3月 北海道教育大学函館校 (非常勤) 1996年4月～1999年3月 群馬社会福祉短期大学 1993年4月～2005年3月 弘前学院大学社会福祉学部 1993年4月～2002年3月 弘前大学医療技術短期大学部 (非常勤) 1993年4月～2005年3月 北海道教育大学函館校 (非常勤) 2001年4月～2005年3月 弘前大学医学部保健学科 (非常勤) 2004年4月～2005年3月 弘前学院大学大学院社会福祉学研究科 2005年4月～現在 名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科
学位	社会学修士 (東北福祉大学)
免許・資格	特になし
研究分野	ソーシャルワーク
現在の研究課題	ソーシャルワークの理論と実践について 社会福祉実践 (救済事業・社会福祉事業・ソーシャルワーク) の歴史
主な担当科目	ソーシャルワーク論

研究・教育業績	『現代児童福祉の展開』(共著. 1989. 学術図書出版)『社会福祉概論』(共著. 1990. 中央法規出版)『大学生と市民のための社会福祉講座①社会福祉』(共著. 1990. 中央法規出版)『大学生と市民のための社会福祉講座②障害福祉』(共著. 1990. 中央法規出版)『社会福祉個別援助技術概論』(単著. 1991. ベスト教育出版)『第4回介護福祉士国家試験解説集』(共著. 1993. 中央法規出版)『児童福祉施設と実践方法』(共著. 1994. 中央法規出版)『児童福祉論』(共著. 1994. 中央法規出版)『現代社会と人間』(共著. 1994. 北海道生活科学研究所)『ケースワーク入門』(単著. 1994. 社会福祉研究会)『福祉を学ぶ福祉を支える』(共著. 1996. ミネルヴァ書房)「医療・保健の分野で働くソーシャルワーカーの過去、そして、未来—精神保健福祉士の誕生を受けて—」(単著. 2000. 『弘前学院大学・弘前学院短期大学紀要第36号』)「社会リハビリテーションと権利擁護事業—社会福祉教育の視点のひとつを求めて—」(単著. 2001. 『弘前学院大学社会福祉学部紀要第1号』)「公的扶助と経済保護政策—公益質屋法の成立をめぐる—」(単著. 2002. 『弘前学院大学社会福祉学部紀要第2号』)「軍事扶助法について—地方に考察の視点を求めて—」(単著. 2003. 『弘前学院大学社会福祉学部紀要第3号』)「昭和研究会について(1)—社会福祉学理論形成の分析視点のひとつとして—」(単著. 2004. 『弘前学院大学社会福祉学部紀要第4号』)「昭和研究会について(2)—社会福祉学理論形成の分析視点のひとつとして—」(単著. 2005. 『弘前学院大学社会福祉学部紀要第5号』)「児童福祉の理念再考」(単著. 2005. 『弘前学院大学福祉教育研究所紀要第2号』)
---------	---

学会活動	日本社会福祉学会会員(1982年～現在) 日本地域福祉学会会員(1987年～現在) 社会事業史学会会員(1988年～現在) 北海道社会福祉学会会員(1988年～現在) 北海道地域福祉学会会員(1993年～現在)
------	---

社会活動	函館市老人保健福祉計画策定検討委員会委員(1993年～1994年) 函館市社会福祉協議会地域福祉実践計画策定委員会委員(1993年～1996年) 函館市地域高齢者住宅計画策定委員会委員(1993年～1994年) 北海道社会福祉協議会講師 (1993年～1996年) 函館市社会福祉協議会講師 (1993年～1996年) 函館市社会福祉協議会「ふれあいのまちづくり推進会」委員 (1993年～1996年) 函館市総合福祉センター運営委員会委員 (1994年～1996年) 函館市高齢者等保健・医療・福祉計画推進懇話会委員 (1993年～1996年) 函館市老人クラブ連合会 (1994年～1996年) 檜山管内厚沢部町社会福祉協議会講師 (1993年～1996年) 群馬県看護教員養成講習会講師 (1996年～1997年) 群馬県民文化大学講師 (1998年～1999年) 前橋市生涯学習講座講師(1998年～1999年) 青森県民生委員 (主任) 児童委員研修会講師 (2000年～2001年) 弘前市社会福祉協議会講師(2000年～2001年) 北海道民生委員児童委員研修会講師 (2006年)
------	---

受賞	特になし
----	------

コメント	<p>ソーシャルワーク(社会福祉援助活動)の理論的体系者でもある Mary. E. Richmond は、「ソーシャルケースワークは、人間と社会環境との間を個別に意識的に調整することを通して、パーソナリティを発達させる諸過程からなっている」と定義した。(『What is Social Case Work』1992)</p> <p>リッチモンドがいう「人間」と「社会環境」は、共に過ぎ去った「過去」と、来るであろう「未来」にもとづいて「現在」を創り出す。「現在」は、「過去」と「未来」の間にあるがゆえに「問題」と「課題」を生み出す。「問題」の存在は、相談援助者としてのワーカーの存在意義でもある。「夜も眠れないほどに辛い」。それは、まさにその人が、今を、真剣に生きていることの証でもある。その証としての「問題」の声を真摯に聴き、受け入れる能力と技術。そして、あたたかく見つめる目と心がワーカーには必要である。「あなたに出会えて本当によかった」。そう言われるワーカーを育む歴史と文化が、名寄にはあると思う。</p>
------	--